

日本糖尿病理学療法学会 第2回 症例報告学術集会

メインテーマ：「理学療法士に望むこと、理学療法士が臨むこと」

日時：2017年3月12日(日) 9:30～15:30

場所：兵庫医療大学 オクタホール

参加費：会員；(事前申込) 3,000円／(当日申込) 4,000円

非会員(他職種)；(事前申込) 4,000円／(当日申込) 5,000円

非会員(学生)；(事前申込) 1,000円／(当日申込) 2,000円

非会員(理学療法士)；(当日申込) 10,000円 *事前申し込みは御座いません

※会員の事前申込は、日本理学療法士協会マイページよりお願い致します。

※非会員の事前申込は、日本糖尿病理学療法学会ホームページ

(<http://jspt.japanpt.or.jp/jsptdm/>)のリンクよりお願い致します。

8:30～ 受付

9:30～ 開会挨拶 第2回症例報告学術集会 学術集会長 永嶋道浩

9:40～11:00

<セッション1 テーマ：糖尿病チーム医療における理学療法士の関わり>

座長：(日本糖尿病理学療法学会運営幹事) 片田圭一 (石川県リハビリテーションセンター)

座長：(日本糖尿病理学療法学会運営幹事) 横地正裕 (三仁会あさひ病院)

コメンテーター：坂口一彦 (神戸大学大学院医学研究科糖尿病内分泌総合内科学分野総合内科学部門
准教授；糖尿病専門医)

コメンテーター：林 直哉 (市立川西病院；管理栄養士)

話題提供者：舘 友基 (医療法人松徳会花の丘病院)

演題「外来での糖尿病教室をきっかけに行動変容が見られた症例」

話題提供者：二宮秀樹 (千葉中央メディカルセンター)

演題「高度肥満を呈した若年糖尿病教育入院患者への運動療法」

話題提供者：大塚貴史 (鹿教湯病院)

演題「宿泊型新保健指導試行事業における理学療法士の役割」

11:10～12:30

<セッション2 テーマ：糖尿病合併症に対する理学療法士の関わり>

座長：(日本糖尿病理学療法学会運営幹事) 石黒友康 (健康科学大学)

座長：(日本糖尿病理学療法学会運営幹事) 河辺信秀 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

コメンテーター：坂口一彦 (神戸大学大学院医学研究科糖尿病内分泌総合内科学分野総合内科学部門
准教授；糖尿病専門医)

コメンテーター：窪岡由佑子 (兵庫医科大学病院；糖尿病看護認定看護師)

話題提供者：小関裕二 (増子記念病院)

演題「透析導入前よりリハビリテーション介入した糖尿病原疾患の血液透析症例」

話題提供者：大塚未来子 (大分岡病院)

演題「糖尿病患者のフットケア戦略 -糖尿病足病変予防手術へ介入した一症例-

話題提供者：前重伯壮 (神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域)

演題「糖尿病性足潰瘍の再発予防を目的として下腿三頭筋のストレッチを試みた
2症例-足関節背屈可動域改善の必要性と患者に応じた工夫の紹介-

12:40～13:30

<ランチョンセミナー（大正富山医薬品(株) 協賛）>

テーマ：糖尿病診療の知っておきたいトピックス

講師：坂口一彦（神戸大学大学院医学研究科糖尿病内分泌総合内科学分野総合内科学部門 准教授）

座長：永嶋道浩（市立伊丹病院）

13:50～14:20

<症例報告学術集会長 基調講演>

テーマ：四半世紀における臨床の関わりを通じた糖尿病理学療法

講師：永嶋道浩（市立伊丹病院）

座長：野村卓生（関西福祉科学大学）

14:20～15:20

<パネルディスカッション>

テーマ：糖尿病管理において理学療法士に望むこと

パネリスト1：坂口一彦（神戸大学大学院医学研究科糖尿病内分泌総合内科学分野総合内科学部門 准教授；糖尿病専門医）

パネリスト2：林 直哉（市立川西病院；管理栄養士）

パネリスト3：窪岡由佑子（兵庫医科大学病院；糖尿病看護認定看護師）

座長：（日本糖尿病理学療法学会運営幹事） 井垣 誠（公立豊岡病院日高医療センター）

座長：（日本糖尿病理学療法学会運営幹事） 林 久恵（星城大学）

座長のまとめ 『理学療法士が臨むこと』

15:20～ 次期集会長挨拶 第3回症例報告学術集会 学術集会長 石黒友康（健康科学大学）

閉会挨拶 第2回症例報告学術集会 準備委員長 和田真明（三田市民病院）

*日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会<2群>1単位 認定

—学術集会に関するお問い合わせ先—

E-mail: dmpt1114@gmail.com

【ランチョンセミナーについて】

協賛企業である大正富山医薬品(株)より、お弁当の提供がありますが、数に限りがございます。事前登録申し込み順の配布とさせていただきますので、お早目の事前登録をお願い致します。なお、お弁当をお渡しできるかどうかについては、事前登録期間終了後にメールにてご連絡させていただきますので、その旨ご了承ください。

【学術集会長からのお願い】

本学術集会は、理学療法士による症例報告を通して他職種からも広く意見を頂戴し、糖尿病チーム医療における理学療法士の立場を、今一度考え直す絶好の機会としたいと考えております。従いまして、理学療法士はもちろんのこと、他職種の方々にも多数ご参加頂きたいと思っております。是非とも、職場の皆様やお知り合いの他職種の方々にもお声かけ頂きますよう、お願い申し上げます。

学術集会長 永嶋道浩 拝